

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。



発行所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟  
電話代表 086-271-7175  
FAX 086-271-4815  
郵便振替 岡山01230-9-3532  
発行責任者 岸本 清美  
編集責任者 豊島 始男  
印刷所 西尾総合印刷株式会社  
定価 (郵税共) 年額1,200円  
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

# 中央情勢・各県提出議題を協議 中国・四国ブロック遺族会

中国・四国ブロック遺族会は十月一日(月)、岡山市駅元町の「ホテルグラウンヴィア岡山」を会場にブロック会議を開催し、中央情勢について日本遺族会から報告・説明を受けると共に、総理の靖國参拝をはじめとする英霊顕彰問題や組織の継承・強化など、各県から提出された議題について協議した。

会議には、日本遺族会から尾辻会長、森田、増矢両副会長、畔上専務理事をお迎えし、中国・四国各県遺族会の会長、女性部長、遺児代表、事務局長ら四十九名が参加。本県からは岸本会長、近常、秀平両副会長、豊島事務局長のほか、副会長・常任理事がオブザーバーとして参加し、午後二時に開会した。

会議は、ご英霊に黙祷を捧げた後、岸本会長が開催県を代表して挨拶。そして、来賓としてご臨席をいただいた石井岡山県知事、内山県議会議長からそれぞれご祝辞をいただいた。



会議で挨拶する尾辻日本遺族会会長

続いて、尾辻日本遺族会会長が挨拶に立った。尾辻会長は会長就任の経緯を報告後、「九月十八日

「今後の遺族のこと、遺族会のことをよろしくお願ひします」とお声をかけていただき、両陛下の遺族や遺族会に対する思いに感激いたしましたことを、先ずご報告申し上げます。

その日本遺族会です。今、大きな問題を抱えています。妻の特別給付金も来年で切れます。何としても継続しなければなりません。

この妻給の運動をする度に思い出すことがあります。特別給付金の性格は、戦没者の妻の皆様に対する慰謝料です。二回目の継続を求めた時、大蔵省(当時)の担当官は「慰謝料の性格上、二回出すのはおかしい」と言いました。当時の婦人部長は中井澄子さんですが、中井部長は「私たちが、お金が欲しくてこんなことを言っているのではない。お金は要らないから旦那を生き返らせて連れて帰ってくれ。あな

だきました。ご先導を申し上げながら、昭和天皇の最後の公式行事となりました全国戦没者追悼式のことを思い出しました。あの時、陛下は体調を崩され静養中でありましたが、「これだけは」と言われて、ヘリコプターでお出ましをいただきました。陛下が会場中央の標柱の前にお立ちになり、正午の時報にあわせて皆で黙祷を捧げますが、しかし、標柱までの二・三メートルをお進みになれるのもや

つとで、この時は時報に間に合いませんでした。そこまでして、昭和天皇もお出ましました。今、上陛下もお出ましをいただきました。

「慰謝料の性格上、二回出すのはおかしい」と言いました。当時の婦人部長は中井澄子さんですが、中井部長は「私たちが、お金が欲しくてこんなことを言っているのではない。お金は要らないから旦那を生き返らせて連れて帰ってくれ。あな

つと共に、歴史を重んじ伝統を育む国造りへの原点であることから、各選挙での推薦候補者決定の際には、必ず参拝の確約をいただくべきである。

(注) 女性部から日本遺族会への提言―光輝ある遺族会は、今後、組織の在り方を含め、見直しを行わなければ衰退の一途をたどることとなる。我々戦没者遺児の代で終わらせてはならない。そのためにも後継者をつくることとが焦眉の急である。女性部自らが直ちに行動し、戦没者の孫、曾孫に働きかけ組織化を図る。当面の会員数は、各支部五十〜百名程度

# 平成24年度県連盟老人福祉事業 記念品を贈り長寿をお祝い



今年、めでたく百歳を迎えられたご遺族は、県下十二支部十五人(本年逝去二人)で、去る九月二十二、二十三日の二日間、岸本会長、近常副会長並びに事務局職員が地元遺族会役員と共に自宅や老人福祉施設を訪問、記念の品(羽布団・毛布)を贈り、慶祝の意を表した。また、身寄りのない父母(二人)、一人暮らし

- ※笠岡市金浦 祝 正子さん(妻)
- ※笠岡市西大島 島田 絹枝さん(妻)
- ※高梁市中井町津々 上山 トメさん(妻)
- ※浅口市鴨方町六条院中 遠藤 貞勇さん(弟)
- ※岡山市北区谷方成 漆谷 富子さん(妻)
- ※倉敷市老松町 岡崎 清子さん(妻)
- ※瀬戸内市牛窓町千手 岡本 静子さん(妻)
- ※小田郡矢掛町矢掛 難波 房子さん(妻)
- ※岡山市南区迫川 三上 良恵さん(妻)
- ※笠岡市金浦 祝 正子さん(妻)

とする。  
④全国戦没者追悼式の式辞において、総理は「アジア諸国の人々に対する謝罪」を常に述べているが、本県の追悼式参列者から「先の戦争に対する歴史観の違いはあると思うが、何時まで謝罪を続けるのか」との声が届いている。(終戦の日のインタビュー)などでも同様の発言

本遺族会及び各県遺族会の意見、また、総理への申し入れ等の是非についてお聞きしたい。  
⑤平成二十年に戦没者慰霊追悼行事への児童・生徒の参列推進について各自自治体に要請を行い、平日開催から土日開催への変更、また、遺族会からの呼びかけによる一部生徒の参加などの成果はあるが、教育委員会や現場の抵抗が大きく、県下全般

では大きな前進は見られない。中・四国各県の状況、大きな成果があった場合は参考としたいので、その経緯・手続き等について説明願いたい。  
—などの議題提出があり、三時間にわたって意見交換と報告を行った。会議では、追悼式の総式辞における「アジア諸国の人々に対する謝罪」について、「何時までも謝罪すべきでない」と

の申し入れを総理に行うべきとの決議がなされた。しかし、戦没者の孫、曾孫に働きかけ組織化を図ることについては、否定的な意見も出され、組織の継承・強化の難しさが報告された。  
終わりに次回ブロック会議の開催を高知県に決定し、午後五時三十分、会議を終了した。  
翌二日(火)、参加者は県護国神社に正式参拝後、県内視察を行い解散した。

- の妻(百六十六人)の皆様には、各市町村遺族会を通じて慰問の品(タオルセット)を贈りお慰めした。
- 本年、めでたく百歳の長寿を達成されたご遺族の皆様方は次のとおりです。今後とも幾久しくお元氣でお暮らし下さい。
- ※笠岡市西大島 島田 絹枝さん(妻)
- ※高梁市中井町津々 上山 トメさん(妻)
- ※浅口市鴨方町六条院中 遠藤 貞勇さん(弟)
- ※岡山市北区谷方成 漆谷 富子さん(妻)
- ※倉敷市老松町 岡崎 清子さん(妻)
- ※瀬戸内市牛窓町千手 岡本 静子さん(妻)
- ※小田郡矢掛町矢掛 難波 房子さん(妻)
- ※岡山市南区迫川 三上 良恵さん(妻)
- ※笠岡市金浦 祝 正子さん(妻)

- 大正元年9月15日生 塩見 佳江さん(妻) 連盟からお供をさせていただきます。
- 大正元年11月10日生 岡山市中区東山 藤田 栄さん(妻) \*総社市赤浜
- 大正元年10月2日生 岡山市北区津寺 能登谷八重さん(妻) 大正元年12月7日生 \*新見市大佐田治部
- 大正元年10月23日生 大正元年10月23日生 寿を全うされ、本年逝去された次の方には県遺族
- 故岡 政江さん
- 故 平田 好子さん

## 安らかに大きくなれ

海軍大尉 田村 清命  
昭和十九年十月二十七日  
比島レイテ島東方サマル島沖にて戦死  
千葉県安房郡瀧田村出身 四十四歳

愛する良子(よしこ)、恭子、光子、和代よ。  
父なしとて悲しむなかれ。父は聖戦に於て、名誉ある戦死をしたのだ。  
御前達は、生前の父をよく知るまい。良子も恭子も永久に記憶に残る程の印象はあるまい。然し、父は御前達の健康さうな、いとしい幼顔が、印象にハッキリして居る。  
父は、作業地(訓練地)にあるときも、戦場にあるときも御前達のなつかしい姿を思ひ浮べては、元氣を出して居た。  
父は、御前達が揃って健康で、満足な五体を所有して居るので、何の懸念もない。安らかに戦死が出来る。  
兄等！安らかに大きくなれ！大きくなったら母の意に背かず、父を辱かすめず立派な日本の女性として雄しく生きて呉れ。  
姉妹は仲よく結束して、一人の母を守れ。(中略)  
「父恋しくば靖國神社へ」とは、父も映画で見た。本当にさうだ！御前達も名譽の遺児として、社頭の対面もさして頂けるだらう。其の時は、肩身を広く九段に来て呉れ。(中略)  
言ひ遺す事は夫れ丈だ。皆シツカリ育て！  
十一月  
父より  
(原文のまま)  
靖國神社社頭掲示

【平成二十四年十月 靖國神社社頭掲示】

靖國神社秋季例大祭

「終戦の日」に続いて閣僚二人が参拝

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」(会長・古賀誠自民党元幹事長)日本遺族会顧問の衆参両院国会議員百二十三人が、秋季例大祭期間中の十月十八日午前、靖國神社に参拝(麻生太郎元首相は同日に別途参拝)し、社に眠る英霊に感謝の誠を捧げた。

また、安倍晋三自民党総裁は前日の十七日に参拝した。同会は毎年、春秋例大祭及び終戦の日に参拝している。

野田内閣は閣僚に対して参拝の自粛を求めているが、羽田雄一郎国土交通相と下地幹郎郵政民営化・防災担当相の二閣僚が「議員の会」と共に参拝。また、森田高総務、



参拝を行う議連メンバー (10月18日)

網屋信介財務両大臣政務官も参拝した。

古賀議連会長は参拝後の記者会見で、閣僚の二人が参拝したことについて「心の問題だ。大変喜ばしいことだ」と評価し、前日の十七日に安倍自民党総裁が参拝したことに中国が不快感を示していることに対し、「日本人、国会議員の心の問題として、あるべき姿であり、近隣諸国が過敏な反応をするのは理解できない」と語った。

参拝した衆参両院議員及び別途参拝の議員は次のとおり。

(党派別・敬称略)

議員本人参拝

衆議院 39人

- 【自民党】逢沢一郎、伊東良孝、井上信治、大島理森、梶山弘志、金子恭之、城内実、古賀誠、後藤田正純、塩谷立、下村博文、高市早苗、高木毅、竹下亘、竹本直一、田村憲久

- 【民主党】金子洋一、小見山幸治、羽田雄一郎、前田武志
- 【たちあがれ日本】中山恭子、藤井孝男

参議院 28人

- 【自民党】有村治子、石井準一、磯崎仁彦、岩城光英、上野通子、宇都隆史、小坂憲次、佐藤正久、谷川秀善、中曽根弘文、林芳正、水落敏栄、三原じゅんこ、山谷えり子、山本順三、吉田博美、若林健太
- 【無所属】尾辻秀久、大江康弘
- 【国民新党】森田高
- 【みんなの党】江口克彦
- 【生活が第二】外山斎

議員代理参拝

- 【自民党】赤澤亮正、阿部俊子、甘利明、石破茂、稲田朋美、伊吹文明、今村雅弘、江渡聡徳、江藤拓、小里泰弘、小淵優子、金子一義、木村太郎、佐
- 【無所属】衛藤征士郎、中象とした慰霊巡拝で、遺児であればどなたでも参加できます。平成二十四年度は十七地域と特定地域三地域が計画され、既に全国各地から多くの遺児が父の戦没された地を訪問しています。
- 今後、東部ニューギニア、フィリピン、中国、西部ニューギニア、ピスマーク諸島を実施する予定ですので、多くの遺児の皆様の参加をお待ちしています。参加費は九万円。参加ご希望の方は県遺族連盟まで。

慰霊友好親善事業参加者募集 お知り合いの方にご紹介下さい

事業実施計画表

実施地域(広域地域)	実施時期	募集人員	申込締切
東部ニューギニア(2次)	平成25年2月16日~2月23日	37人	平成25年1月9日
フィリピン(2次)	平成25年3月6日~3月13日	120人	平成25年1月23日
中国(2次)	平成25年3月21日~3月29日	45人	平成25年2月7日

実施地域(広域地域)	実施時期	募集人員	申込締切
ピスマーク諸島	平成25年2月23日~3月2日	36人	平成25年1月9日

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業(遺児の巡拝)の

- 【無所属】尾辻秀久、大江康弘
- 【国民新党】森田高
- 【みんなの党】江口克彦
- 【生活が第二】外山斎
- 【自民党】赤澤亮正、阿部俊子、甘利明、石破茂、稲田朋美、伊吹文明、今村雅弘、江渡聡徳、江藤拓、小里泰弘、小淵優子、金子一義、木村太郎、佐
- 【無所属】衛藤征士郎、中象とした慰霊巡拝で、遺児であればどなたでも参加できます。平成二十四年度は十七地域と特定地域三地域が計画され、既に全国各地から多くの遺児が父の戦没された地を訪問しています。
- 今後、東部ニューギニア、フィリピン、中国、西部ニューギニア、ピスマーク諸島を実施する予定ですので、多くの遺児の皆様の参加をお待ちしています。参加費は九万円。参加ご希望の方は県遺族連盟まで。

- 田玄一郎、塩崎恭久、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、田野瀬良太、永岡桂子、中川秀直、中谷元二階俊博、西村康稔、額賀福志郎、野田聖子、福井照、保利耕輔、町村信孝、松本純、三ツ矢憲生、森山裕、山本公一、山本拓、山本有二
- 【民主党】石山敬貴、大西孝典
- 【たちあがれ日本】園田博之
- 【無所属】衛藤征士郎、中村喜四郎
- 【生活が第二】鈴木克昌
- 【参議院】15人
- 【自民党】青木一彦、石井浩郎、衛藤晟一、岡田広、金子原二郎、佐藤信秋、関口昌一、中西祐介、松村祥史、松村龍二、山崎正昭、山本一太
- 【新党】荒井広幸
- 【国民新党】自見庄三郎
- 【たちあがれ日本】片山虎之助

